

セーフティ通信

夏期・行楽期の 交通事故防止について

平成28年7月20日現在、**事業用貨物自動車**が**第1当事者**の交通死亡事故死者数につきましては、**10人(前年同時期比で4人の増加)**となり、これ以上発生させる訳にはいきません。

各地区の皆様と力を合わせて抑止したいと思いますのでご理解ご協力をお願いします。

(北海道の交通事故死者数は69人前年同時期比-14人)

いよいよ暑い夏とともに、**夏休み・行楽**の季節となり、**観光客**も増加し、**家庭でも行楽(キャンプ・海水浴等)**に出かけることが多くなります。

事業用貨物のドライバーの皆さんは、このような状況の中でも**日々の運送業務**が続きます。

例年、**7月から8月**にかけて**人対車両の重大交通事故**の発生、**郊外における車両同士の正面衝突事故**の多発、**車両の単独交通事故**が多発しております。

原因の最も多いのが、**前方不注意**であり、次いで**速度超過、歩行者妨害**となっております。

各事業所の運行管理者の皆様は、次の事項について確実にドライバーの皆さんに徹底してください。

- **渋滞等でいらいらしないで気持ちに余裕を持って、優しい運転を心掛けること。**
- **車内が冷房等で涼しくても、確実に水分を補給すること。**
- **事故を防ぐことは勿論、発生しても小さな事故で済むように、交差点右左折時は、確認の上に確認を重ね、また、市街地・郊外を問わず指定速度を厳守する。**
- **この時期は集中力が長く続きません、決して無理をしないで休息をとること。**
- **運転する前日は、飲酒を控えましょう。一晩寝ても、アルコールは体から簡単に抜けません。**
-

飲酒運転の根絶！

飲酒運転の被害は、決して**他人事**ではありません。

皆様方の大切な**家族、友人**等が**飲酒運転の被害**に遭った事を考えてみてください。

……**決して他人事ではありません。**

一人ひとりが「**飲酒運転をしない、させない、許さない**」という気持ちが大切であり、飲酒の場には絶対に車で行かない、予定外の飲酒をすることになったら、公共交通機関、運転代行を必ず利用すること。

乾杯の一口、水で薄くした等全て飲酒運転であることを肝に命じてください。

他人の人生を崩壊させないために！